

指定校番号	29009	学級活動	○	児童会	クラブ活動	学校行事	小学校用
-------	-------	------	---	-----	-------	------	------

平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立阿品台西小学校	校長	松江 都志美	生徒指導主事	大久保 真人
-----	--------------	----	--------	--------	--------

取組事例名 『全校で取り組む たて割り班そうじ』

取組のねらい『キーワード 6年生みんながリーダー』

- (1) 清掃活動を通して、人を大事にすること、物を大事にすることを実践的に学ぶ。
- (2) 担任以外の教職員も直接児童と関わる場とし、児童と教職員と一緒に学校をきれいにする。
- (3) 異年齢集団で「思いやり」「導き合い」など、日常的に関わりの場をもつことで、縦割り班を使った集団作りとリーダーの育成を実践する。
- (4) 掃除道具の扱い方、手順の基本を学び、工夫して作業できるようにする。

身に付けさせたい資質・能力

- (1) 学級集団の人間関係を離れて、新しい人間関係を作ることができる。学級集団以外の居場所ができ、活躍の場もてる。
- (2) 担任以外の教師と知り合い、評価されることで、自信をもつことができる。
- (3) 異年齢集団で、日常的に関わる場もてる。日常的に顔を合わせ仕事をする中で、異年齢での友だち（知り合い）ができ、交流が生まれる。
- (4) 6年生がリーダーとして活動できる。（6年生は、全員が班長）
5年生が、副リーダーとしての自覚をもつ。（5年生は、全員が副班長）
- (5) 掃除の方法を学び合える。



取組の具体的内容『キーワード 子どものよさを多角的に』

学校全体を一定期間、同じ場所、同じメンバーで掃除する。

- (1) 全校児童を、縦割りによる60班に編成し掃除を行う。
 - ① 1班の平均人数が9人（それぞれの学年で原則1～2名ずつ）
 - ② 各クラスとも20班に分ける。（3年生のみ30班）
- (2) 教職員1人が約3区域の児童（約27人）を指導する。

取組の課題・創意工夫『キーワード 異学年の課題も』

担任がクラス内の児童を20班（3年生は30班）に分けるときに、指導上課題のある児童が重ならないように配慮しながらエクセルファイルに入力を行った。

入力は各組とも「6年生」→「5年生」→「4年生」→「3年生」→「2年生」→「1年生」

の順に行う。指導上課題のある児童の配分のバランスを考えながら行う。

各組ごとに全学年の入力が終わったら、組会（1組、2組、3組）を設け、担任で20班の構成の最適化に努めた。



取組の成果（効果）『キーワード 自己有用感』

すべての6年生がリーダーとしての役割を果たし、下学年のお手本となっているかと言えば、端から見ているとそうでないところも見受けられるが、6年生は頼られることで自己有用感を感じて活動している。

この縦割り班を使って体育委員会の子どもたちが楽しくグループで遊ぶ活動を計画して、縦割り集団で楽しい活動もできた。

今後の展開『キーワード リーダーに感謝』

卒業前の6年生のリーダーにお礼の手紙を縦割り班で書いたり、6年生に感謝の気持ちを表す活動も計画したい。

他校へのアドバイス『キーワード いいところを』

多くの小・中学校ですでに行われている縦割り班活動（そうじ）、6年生にリーダーとしての自覚や自己有用感を持ってほしいということで取り組んだ。